

# 色とDesignの基礎的な感覚訓練についての一考察

帝京短期大学 被服研究室

原 田 凉 子  
石 坂 和 重

## 緒言

ここ数年來生活の安定と共に、生活の中に、生活を楽しく豊かにするいろいろな色と、形が取り入れられるようになって来た。その色と形を上手に取り入れるためには、良い色、配色、センスのある形が選らばなければならないと思う。そのためには、その形が、色が、創り出せ、選らび出せる感覚が必要となって来る。その感覚を少しでも良いものにするためには、先天的な感覚のみに頼らず、ある程度の訓練を行った方が感覚が良くなるはずである。そこで、色とDesignの感覚を養うには、どういうことを勉強させ、訓練させたら効果があるか、高校生を対象に四年間行ってみた訓練方法を述べてみます。幸いにもこの訓練が行えたのは、対象となっている生徒の高校、山口県宇部市香川高校では、家政科の一年生に意匠という教科があり、その意匠の授業内容として、色とDesignの感覚訓練の基礎的なものを行って見た。また、この授業に御理解と御協力をいただきました諸先生方に心より感謝致して居ります。訓練方法は、東京家政大学意匠学研究室の宮下孝雄教授の著わされました、色彩・意匠ガイドを基に行ってみました。

## 一、一年間の訓練予定

### 訓練時数

週2時間、年間35週(1時間50分とする)

- |                               |       |   |
|-------------------------------|-------|---|
| (1) 色とは何か                     | _____ | 8 |
| (2) 色の感覚について                  | _____ | 1 |
| (3) 色の連想について                  | _____ | 1 |
| (4) 対比と対比現象について               | _____ | 2 |
| (5) 色の調和(ムーン、スピンサーの配色調和論)について | _____ | 2 |
| (6) 色の構成について(マジック・スクエア)       | _____ | 2 |
| (7) 進出色、後退色、注視色と視距離           | _____ | 2 |
| (8) 色彩調節                      | _____ | 2 |
| (9) 肌色とそれに適応した服の色             | _____ | 2 |
| (10) Designの感覚                | _____ | 1 |
| (11) Designの使命                | _____ | 1 |
| (12) Designの感覚訓練              | _____ | 2 |
| (13) ビジュアル・パートの訓練             | _____ | 4 |
| (線の研究、パランス・プロポーシジョン・リズム)      |       |   |
| (14) コンストラクトと鏡視               | _____ | 2 |
| (15) ソンメトリーと動的対称              | _____ | 2 |
| (16) 色と形の空間構成……(1)            | _____ | 4 |
| (リズム構成)                       |       |   |
| (17) マジック・スクエアとデザイン構成         | _____ | 4 |
| (18) 色と形の空間構成……(2)            | _____ | 4 |

(面積分割)

(10) その他

- 。木の葉を利用してのデザイン構成 \_\_\_\_\_ 4
- 。リズム構成を応用してのデザイン構成 \_\_\_\_\_ 2
- 。包装紙色紙を使用したの  
マジック・スクエアのデザイン構成 \_\_\_\_\_ 6

。包装紙の図案作製 \_\_\_\_\_ 8

。卓上クラフト・ツリー作製 \_\_\_\_\_ 4

二、訓練方法

(1) 色とは何か

① まず第1図のように色名表を作製させ、色紙を貼りながら色名を憶えさせる。

② 色には、有彩色と無彩色があり、それぞれ色相 (Hue) 明度 (Value) 彩度 (Chroma) があって数多くの色のあることを理解させる。

③ 第2図のようにランベルトのピラミッド・カラーを作製し原色の混合から順次いろいろな数多くの出来ることを理解させる。

④ 色を色相の順に並べてゆくと、三原色を基に色環 (color circle) が出来る。色環を第3図のように作製させ、色を感情に訴えて温色系 (暖色)、冷色系 (寒色) に、区分されることを理解させる。

(2) 色の感情について

色を感情に訴えたと、見たかんじの涼しい青は寒色に、見たかんじの暖かい橙色は暖色に区分される。寒色は、別名収縮色とも云われ、実際の大きさよりいくらか小さく、暖色は膨張色とも云われ逆に実際の大きさより大きくみえる。色のこのような性質を

良く理解させ、これを服飾の上に応用し、人の個性、体型によって色の選択が必要であることを理解させる。

また味覚の上からも色感をみることが出来る。例えば甘いかんじのする色はピンク、すっぱいかんじのする色はレモン・イエロ―と味覚の上からも色の感情の区別できることを理解させる。

(3) 色の連想

色を一つ一つあげてその色から連想するものを上げさせる。連想作用は年令、環境、地域、性別によって違う。年代がすすむに従って具体的なものから抽象的なものになってくる。例えば赤から連想するものは、年少者では火事とかリンゴのように物質的な名詞を連想する。高校生以上になって来るとリンゴが情熱とかわって来る。高校生で調査した結果98%までが抽象的なものを連想した。

(4) 対比と対比現象について

第4図のように色紙を貼付させ次のような対比現象の起こることを理解させる。

第4図の①、②、③は、ある異った二つの色相を並べてみた時同一面積の場合に生ずる対比現象である。

①は色相の対比による場合  
赤と緑は滲色作用 (滲光作用) を起こし、相互の色の境にチラつきを生じ、色をはっきりきめることが困難になる。その弊害を除くために境界線に中性色をはさむ。

②は明度の対比による場合  
同明度 (黄とうす緑) の場合いづれか一方の明度異がおびやかされるか、共に明度に変化を生ずる。

異明度 (紺とうす黄) の場合、高明度の方は、より一層明るく感じ、低明度の色相は、ますます暗く感ずる。以上二つの場合は

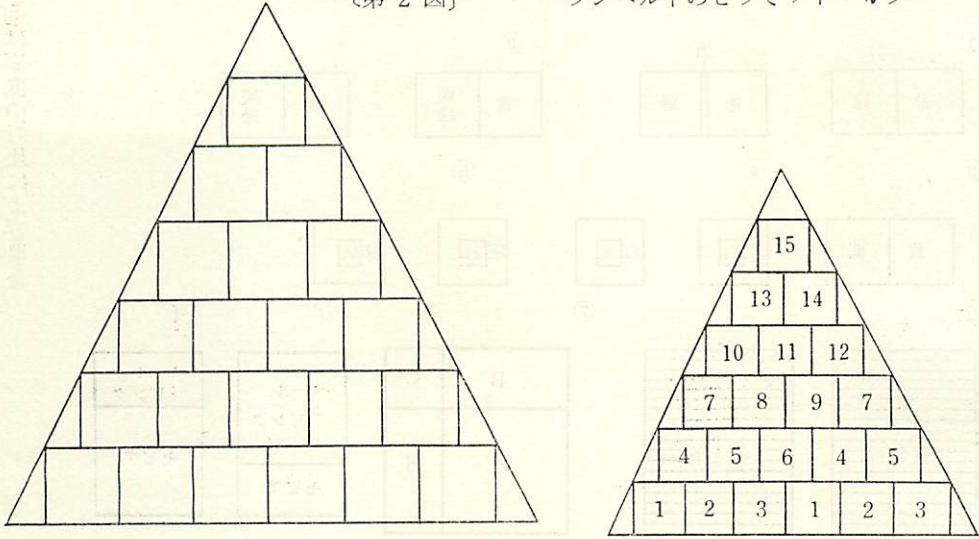
〔第1図〕

色 名 表

No.	色 紙	色 名	色相	明度	No.	色 紙	色 名	色相	明度	
1		赤	カーマイン	赤	15	26	えび茶	マダー ブラウン	赤	12
2		ローズ	ローズ	赤	17	27	あずき色	ダーク ローズ	赤	15
3		茶色	バーンド アンバー	橙	14	28	白ピンク	ペール ピンク	赤	19
4		橙	オレンジ	橙	17	29	朱色	バーミリオ ン	赤味橙	15
5		肌色	ミーシエル ・ピンク	橙	19	30	れんが色	ブロンズ ローズ	赤味橙	15
6		黄橙	イエロー オレンジ	黄橙	18	31	とのこ色	ライト シナモン	黄橙	19
7		黄土色	バフ	黄橙	16	32	ベージュ	ベージュ	黄橙	17
8		黄色	レモン イエロー	黄	19	33	セピア	セピア	黄橙	12
9		菜種色	オリーブ イエロー	黄	17	34	オリーブ	オリーブ	黄	15
10		うす黄	ペール イエロー	黄	19	35	柳色	ウイロー	黄緑	19
11		黄緑	イエロー グリーン	黄緑	18	36	にぶ黄緑	ミスト グリーン	黄緑	17
12		うす緑	ペール グリーン	緑	19	37	オリーブ・ グリーン	オリーブ グリーン	黄緑	14
13		緑	グリーン	緑	16	38	濃い緑	ディーブ グリーン	緑	14
14		青緑	ブルー グリーン	青緑	16	39	うす青緑	オリゾン ブルー	青緑	19
15		濃い青緑	ハイランド グリーン	青緑	12	40	なんど鼠色	グリーニツ シュグレ	青緑	15
16		緑青	ターコイズ ブルー	緑青	14	41	水色	ベビー ブルー	緑青	18
17		青	ブルー	青	14	42	あい色	ダーク ブルー	青	12
18		うす青	ペール ブルー	青	19	43	空色	スカイ ブルー	青	17
19		青紫	ブルー パープル	青紫	13	44	青ねずみ色	スモーク ブルー	青	17
20		紫	パープル	紫	14	45	こん色	インディゴ	青紫	11
21		藤色	ライラック	紫	18	46	にぶ青紫	ダーク パープル	青紫	15
22		もも色	オーキッド ピンク	赤紫	19	47	うす青紫	ブルー ラバンダー	青紫	19
23		赤紫	マゼンタ	赤紫	14	48	ぶどう酒色	ポート ワイン	赤紫	12
24		灰色	ニュートラ ル・グレー		16	49	明るい灰色	シルバー グレー		18
25		黒	ブラック		10	50	暗い灰色	チャコール グレー		13

〔第 2 図〕

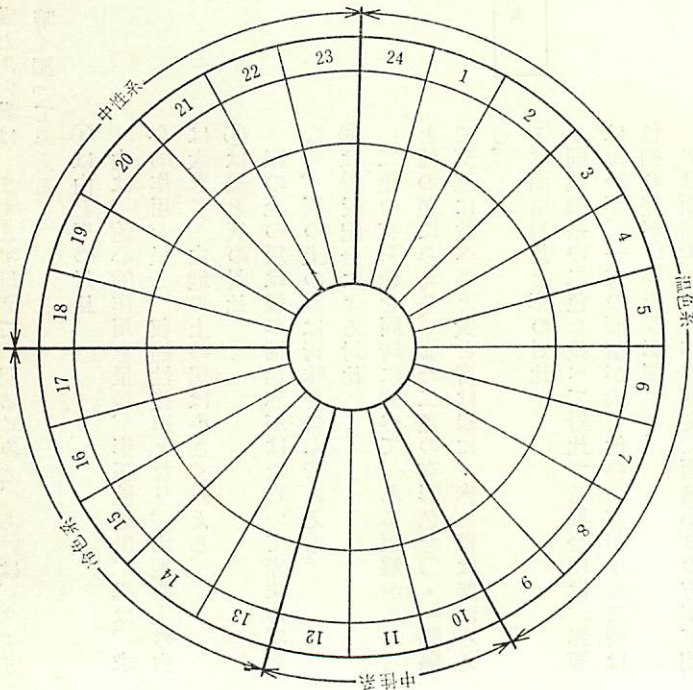
ランベルトのピラミッド・カラー



1	黄	6	緑	11	青ねずみ色
2	赤	7	えび茶	12	黄土色
3	青	8	緑青	13	こん色
4	橙	9	オリーブ	14	セピア
5	紫	10	あづき色	15	黒

〔第 3 図〕

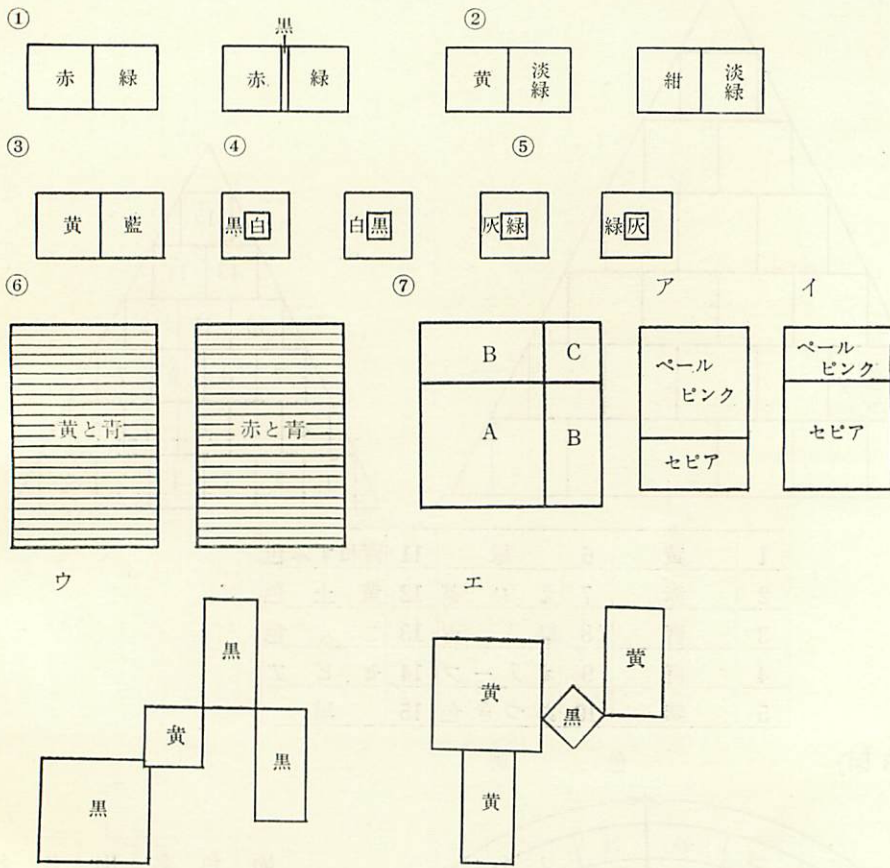
色 環



No.	色名	No.	色名
1	あか	13	青緑
2	れんが色	14	緑青
3	朱色	15	こい緑
4	橙	16	青
5	肌色	17	こん色
6	黄橙	18	にぶ青紫
7	とこの色	19	青紫
8	黄	20	藤色
9	やなぎ色	21	紫
10	黄緑	22	もも色
11	菜種色	23	赤紫
12	緑	24	ローズ

〔第4図〕

対比と対比現象 (Contrast) 無光沢



③は彩度の対比による場合  
各色相それ自身も変化してみえる。

黄とあい黄は、ますます冴えて、明るくみえ、あいはいは、ますます暗く濁ってみえる。

④は白と黒の対比  
白は、遠心的作用を呈し、膨張性進出、黒は、求心的作用を呈し、収縮性後退となり、黒地の上の白は大きく、白地の上の黒は小さくみえる。

⑤は緑と灰の対比  
緑の上の灰は緑の補色赤がはたらいで赤味の灰となり、灰の上の緑は青味を含んでみえる。

⑥は併置配合による対比  
二色の有彩色を同時に並べて、ある距離からみると他の色にみえる。また二色の有彩色を○・一间隔で交互に並べると黄と青は緑に、赤と青は紫にみえる。

⑦は面積対比と形の対比  
同色相系の二色を並べて対比する場合には、影響はないが、一方の面積が大で他の一方が小なる時は色相の差がいっそう影響する。

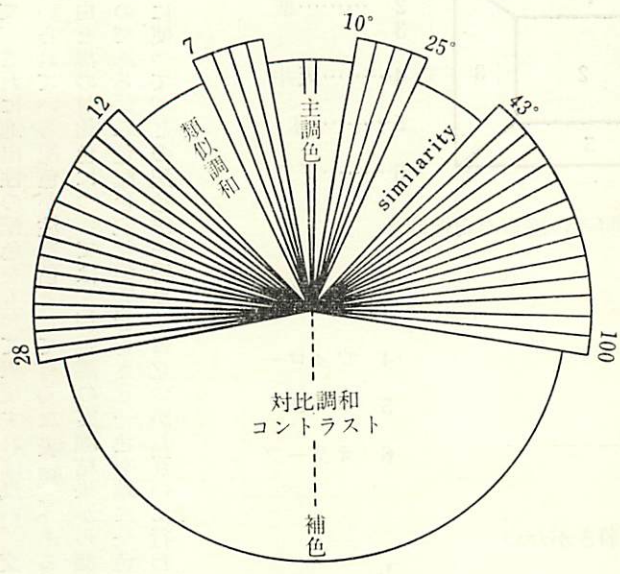
アは面積大(A)の方が中明度で面積小(B)の方が低明度で不安定。①はAを低明度、Bを中明度とし安定。服の色でいうとブラウスを中明度とし、スカートを下明度とすれば安定の感があるが、反対の場合には不安定な感じを与える。

ウエは黒の面積と黄の面積の関係が、黄が黒の面積と黄の面積の関係が、黄が黒の何分の一かに相当するといったように小さい面積の場合、黄は光ってみえる。黄の面積が増すがって光の輝きは、低

(5) 下する。黒に光沢を与えると黄と黒の対比は、強くなる。

色の調和（ムーン・スペンサーの配色調和論）  
 第5図のムーン・スペンサーの配色調和色を基に、類似色相の調和と補色調和（対比調和）の性質を理解させ、服飾に应用する場合、その配色の現わす感じを服の着用目的とマッチさせることの必要性を理解させる。

〔第5図〕 ムーン・スペンサー調和色



(6) 色の構成について（マジック・スクエア）

配色の科学的な方法としては、いろいろな色板を利用することができるが、ここでは、明度差の感覚をとらえて配色の根本とし、明度段階の1・2・3……8・9を魔法陣（マジック・スクエア）

〔第6図〕 マジック配色（3色配合の場合）

マジック・スクエア

6	1	8
7	5	3
2	9	4

垂直線上

6	7	2
1	5	9
8	2	4

水平線上

6	1	8
7	5	3
2	9	4

対角線上

6	5	4
8	5	2

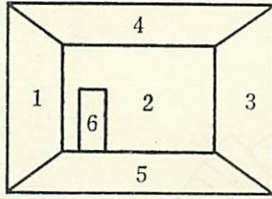
明度スケール

9
8
7
6
5
4
3
2
1

ア）に配置し、これに有彩色の各色相明度をあてはめこの中から水平、垂直対角線上に並ぶ三色または二色を調和色とする方法を理解させる。第6図のように三色調和が八種求められる。その中から最適調和、温和的調和、強調的調和を選らびながら応用させる。

〔第7図〕

色彩調節



- 1 } ……壁
- 2 }
- 3 }
- 4 ……天井
- 5 ……床
- 6 ……ドア

A 積極性を与えた明るい感じの女性向き

- 1 } サモン・ピンク
- 2 }
- 3 }
- 4 ウィロー
- 5 ページ
- 6 オリーブ

B 外向性で、落ち着きがない

- 1 } イエロー
- 2 }
- 3 }
- 4 オレンジ
- 5 パーント・アンバー
- 6 ピンク

A' 消極性を与えた軽快な男性向き

- 1 } ホリゾン・ブルー
- 2 }
- 3 }
- 4 ペール・ピンク
- 5 マダーブラウン
- 6 サモン・ピンク

B' 内向性で、淋しい、憂うつなかんじ

- 1 } ペール・ブルー
- 2 }
- 3 }
- 4 ディープ・グリーン
- 5 イエロー・グリーン
- 6 ネホワイト

(7) 進出色、後退色、注意色、視距離  
色を心理的性質からみると、後退性と進出性がある。この進出、後退を交互に重ねた時の色は動いてみえることがある。したがって色に動的効果を与えたい時は、与えられた面積に律的分割として、これに進出性の配色をもって表現すれば良い。交通標識に用いられている配色が注意色として有効な表現である。黄と黒、白と黒の対比色については、視距離の実験結果から測定されたものである。二色配色(対比配色)をさせ一色を地に一色を矢印の色に使って、どの配色が一番良く目立つかお互いに行わせる。

(8) 色彩調節(室内配色)  
近年室内の配色においても、その部屋の使用目的に応じて色彩調節がなされるようになって来た。工場、学校、病院など天井、壁、床、ドア、カーテン、その他、その場所に応じた色彩調節が必要である。第七図のように、天井、壁、床、ドアの図を描き、四種類の色彩調節を行わせ、それぞれどんな感じがするか自分の受ける感じをまとめさせた後、普通の感覚の人の受ける感じを説明し、自分の受ける感じとを比較させる。

(9) 肌色とそれに適応した服の色

肌の色を一般的に分析してみると、ピンク系、オレンジ系、イエロー系の三つに分けられる。肌の色といっても主に顔の色との調和を考える。肌色に適応する服の色は明度の高い肌には、服の色も明度の高い色相を選らば良い。色相の選び方がむつかしいことを理解させる。

(10) Design の意義

Design といえば、洋裁の専門用語のように使われることが多いが、(11)で Design の意味をしっかりと理解させる。語源はラテン語の Designare で、フランス語では Dessin 英語で Design その意味は動詞で、立案する、計画する、設計する、図案する。名詞では、計画、目的、着想、設計、意匠である。これをもっと深く考えてみると Design = to make one's mind; to do a thing for a certain purpose = planning 即ち意匠とは、ある目的のもとに心の中で考えていることを形に表現しようと計画すること。以上の意味をしっかりと理解させる。

(11) Design の使命

Design の範囲を二つに分けると

実用性の意匠——実用が主、鑑賞が従  
鑑賞性の意匠——鑑賞が主、実用が従

生活に適応するための造形技術の中における美の扱い方の多寡によって分けられ、ここでは、実用性の意匠の方を理解させる。

(12) Design の感覚訓練

自然現象の中から花や葉の美しさを、取り入れて装飾化する、便化 (Convetion) の技術を習得させる。模様の多くは、この便化技術である。Design sense を習得するためには、多くの作品を鑑賞し、批判することが第一である。

(13) ビジュアル・アートの訓練

線の親和性方向性について理解させる。いろいろな図案をみてそのその図案が現わしているものが、バランスかプロポーションカリブズであるか、静的か、動的かが見分けられるようにする。

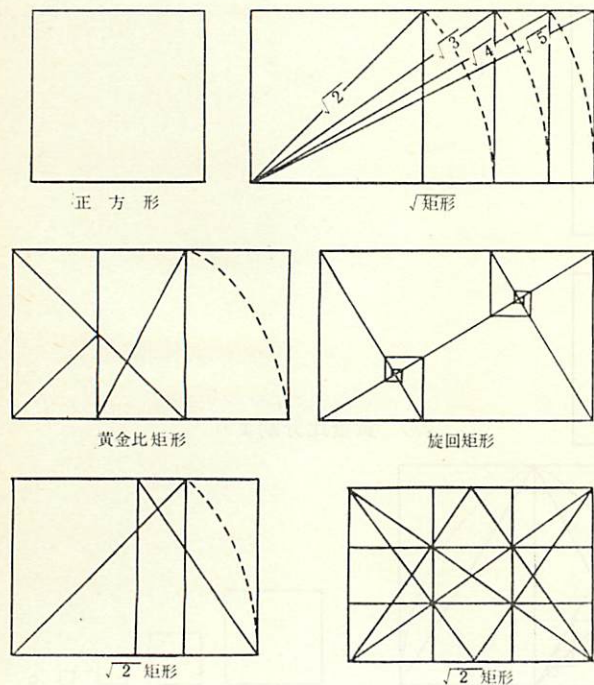
(14) コントラストと錯視

同じ長さの線の対比、同面積の円の錯覚対比等円の面積の外縁の大小による錯覚、円の面積比による錯覚の図を書かせ錯覚視を理解させる。

(15) シンメトリーと動的対称

多くのデザインには、左右対称の装飾が用いられている。いろ

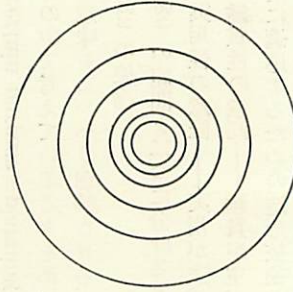
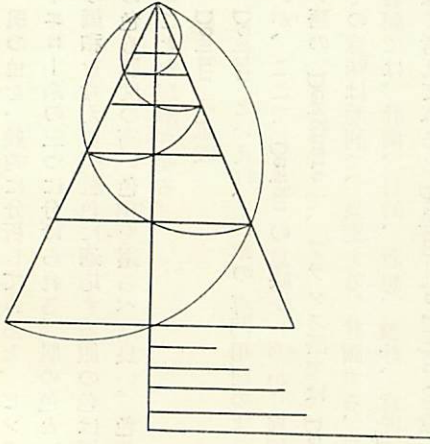
〔第 8 図〕 動的対称の基本形態





〔第9図のa〕

頂角45°の二等辺三角形より線と円のリズム



(16)

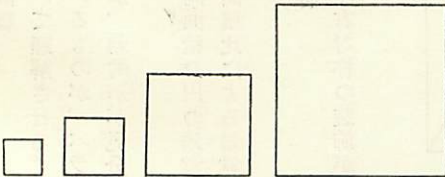
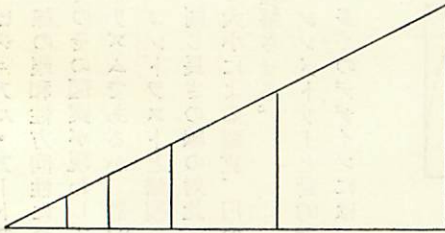
いろいろなシンメトリーなもの例えば紋などをあげてシンメトリーを理解させる。第8図のように動的対称の基本形態を学ばせ、これを応用して動的対称によるデザイン構成をさせる。  
色と形の空間構成——(1) リズム構成  
リズム構成の主なる力は、線と形を面から成り立つ綜合体の表現である。

第9図のように

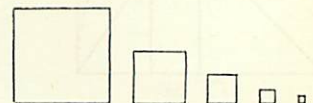
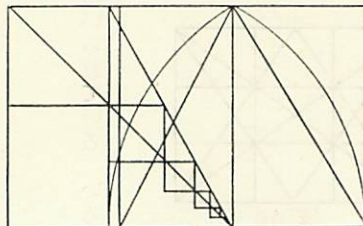
- ① 二等辺三角形より線と円のリズム構成
  - ② 直角三角形より正方形のリズム構成
  - ③ 黄金比分割より正方形のリズム構成
  - ④ 黄金化矩形のリズム構成
- 以上四つの構成をさせ、いろいろな分割方法を理解させる。

〔第9図〕—1

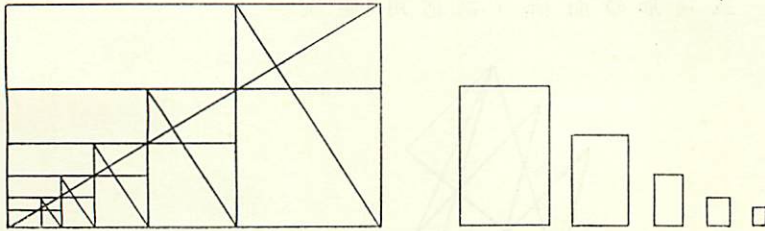
② 直角三角形より



③ 黄金比分割より

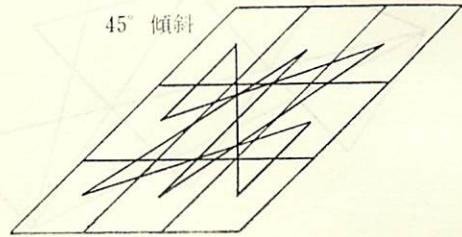
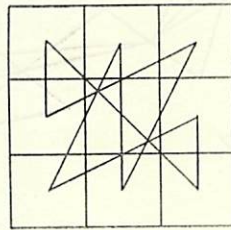


〔第 9 図〕—2 黄金比矩形より

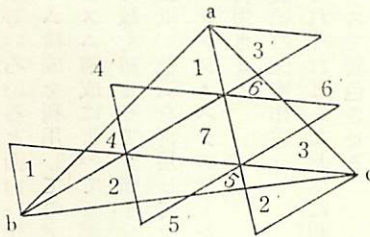


〔第 10 図〕

6	1	8
7	5	3
2	9	4



〔第 11 図〕

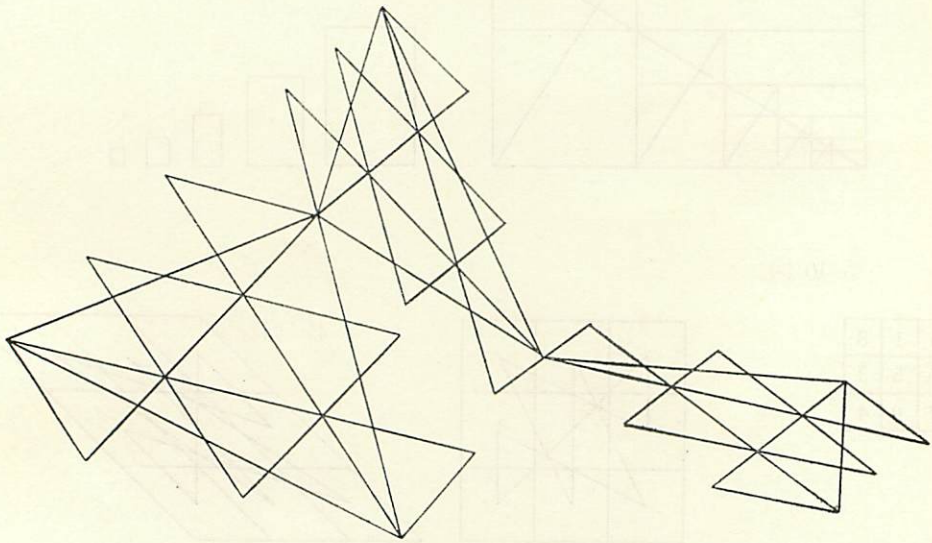


- 任意の三角形 a, b, c を描き、各辺を三等分する。
- 各辺の 1/3 と頂角を結ぶ。
- 残りの 1/3 を通り頂角を結んだ線に平行な線を描く。
- すると 1, 2, …, 7 の三角形と 4', 5', 6' の三角形が出来る。
- 次に 1, 2, 3 の三角形と合同のものを、三角形の外側に描く。

(17) マジックエアアのデザイン構成 (第 10 図)  
マジック・スクエアを応用してデザイン構成をさせる。マジック・スクエアの番号順に線を結び第 6 図を参照して配色を求めさせ着色させる。マジック・スクエアを何度か傾斜させても面白いものができる。(第 10 図)

(18) 色と形の空間構成 — (2) 三角形の面積分割  
平面的なものから立体的なものへ移るにあたって、面積分割を第 11 図のように行わせる。この面積分割を応用させ配色を考えさせて、デザイン構成させる。(第 12 図参照)

三角形の面積分割応用(連続)



⑱ その他

。木の葉を利用してのデザイン構成

木の葉の外形を利用し、図案化して、着物の柄、クッションの図案等いろいろな面白い作品ができた。

。リズム構成を利用してのデザイン構成

リズム構成によってできた正方形、または、矩形を利用し、それに線を組ませてデザイン構成させる。

。包装紙、色紙を利用してマジックス・スクエアのデザイン構成

マジック・スクエアをデザイン構成し、着色に包装紙や色紙を利用させる。

。包装紙の図案作成

それぞれどんなお店に利用するか目的をもたせ、デザイン・クレパスで着色させる。

。卓上クリスマス・ツリー作製

画用紙にて直径7cm、高さ13cmの三角垂を作り、それに創造力豊かにデコレーションさせる。思い思いの楽しいものができた。

まとめ

以上の訓練を行った結果感覚が訓練前0だったものが3とか5になったと数値でもって、はっきり表現することはできないが、次のようなことが云えると思う。評価に於ては、表1①②のように訓練が進むにしたがって良くなっていることがわかる。

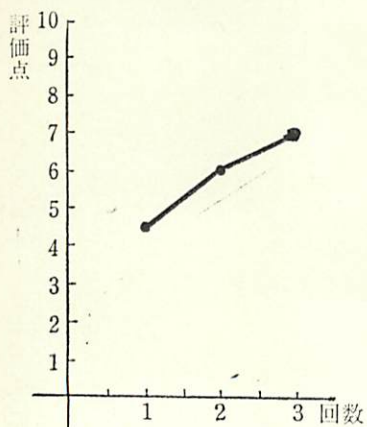
また日常生活をみていると入学時は、教室も、唯々掃除がしてあるというのみで、清潔さはあっても美しさというものがなかったが月日が経つにつれ、花を生けるにしても配色を考慮に入れて生け、掲示板の使い方も、見やすく、美しくと工夫するようになって来た。また、香川高等学校※1では、県の家庭科の研究会や、会議が

① 昭和40年度 評価表

生徒 200名  
回数 3回 (1.2.3. 学期末)

回数 生徒	1	2	3	回数 生徒	1	2	3	回数 生徒	1	2	3	回数 生徒	1	2	3
1	3.2	3.7	5.6	51	1.8	3.0	5.4	101	4.7	7.8	8.0	151	5.1	5.2	7.2
2	3.7	6.3	7.3	52	5.0	8.3	8.3	102	5.1	5.6	5.9	152	4.4	4.9	5.7
3	4.8	7.3	7.6	53	4.1	5.0	4.9	103	5.3	6.4	7.9	153	5.2	6.2	7.2
4	3.9	4.6	6.8	54	3.7	6.3	6.8	104	3.8	4.6	4.7	154	4.0	6.3	6.5
5	2.8	5.2	5.3	55	5.3	7.3	7.6	105	4.0	5.3	5.6	155	4.5	7.9	8.4
6	3.8	6.3	6.8	56	4.1	6.0	6.5	106	4.7	5.9	6.0	156	5.9	8.2	8.9
7	5.0	7.3	7.6	57	3.8	5.7	6.4	107	5.8	6.5	8.1	157	5.2	5.4	8.0
8	4.5	4.7	6.4	58	3.8	5.7	7.2	108	4.0	4.7	4.9	158	5.3	6.2	7.6
9	4.6	6.8	6.8	59	4.2	6.0	7.4	109	5.5	6.6	6.8	159	5.0	7.5	7.5
10	3.7	3.8	5.5	60	4.1	6.7	7.9	110	5.3	6.9	8.0	160	4.4	5.3	7.3
11	4.7	5.6	7.1	61	3.7	6.6	6.6	111	5.1	5.7	6.0	161	4.6	8.1	8.3
12	4.6	7.6	7.6	62	4.1	5.2	6.2	112	5.8	6.7	7.9	162	5.2	7.0	8.1
13	4.7	5.8	5.8	63	5.1	5.2	6.5	113	6.0	7.1	7.4	163	3.7	5.8	6.2
14	3.6	4.4	6.2	64	4.7	6.0	7.7	114	5.7	6.1	6.9	164	5.4	8.5	9.3
15	3.5	3.9	6.2	65	4.7	6.7	7.0	115	4.5	5.2	5.5	165	5.6	6.2	6.9
16	4.2	6.8	7.1	66	4.9	6.6	7.5	116	5.5	7.3	9.0	166	4.7	5.3	7.4
17	3.5	3.8	6.3	67	4.9	5.9	6.3	117	5.7	6.3	6.9	167	4.6	6.8	7.3
18	4.0	4.6	5.2	68	6.3	7.3	7.6	118	5.8	6.1	6.7	168	5.0	6.4	7.1
19	4.6	7.5	7.8	69	5.0	5.1	7.9	119	4.7	5.6	6.0	169	4.2	7.0	8.6
20	5.6	6.9	7.3	70	5.1	5.5	6.0	120	4.6	5.9	6.4	170	4.5	5.2	5.9
21	5.2	5.6	7.2	71	5.8	7.5	7.6	121	5.4	6.4	7.4	171	6.0	7.6	8.0
22	5.1	7.9	7.8	72	4.2	5.6	5.7	122	3.8	5.8	5.9	172	4.5	6.2	6.3
23	5.6	6.9	7.3	73	4.9	7.1	7.4	123	4.6	6.7	8.1	173	5.4	7.8	8.1
24	5.2	5.6	7.2	74	3.5	3.6	3.7	124	5.1	5.5	7.0	174	5.0	6.9	7.1
25	5.1	7.8	7.9	75	5.6	6.3	6.8	125	5.2	5.8	6.1	175	3.8	7.6	7.9
26	4.4	5.2	7.1	76	3.8	4.5	5.0	126	5.3	5.4	5.8	176	6.6	7.0	7.6
27	5.2	6.6	6.7	77	4.9	6.6	7.6	127	3.3	5.2	5.7	177	2.0	4.4	5.3
28	3.8	6.1	6.8	78	4.1	4.9	6.3	128	4.2	6.5	6.7	178	4.0	5.7	6.3
29	4.6	6.0	7.3	79	3.4	5.6	6.6	129	5.2	7.1	7.2	179	6.0	7.0	7.5
30	4.6	7.2	7.4	80	4.0	5.4	6.4	130	5.2	1.9	7.9	180	4.3	7.1	8.5
31	6.1	7.7	8.2	81	4.2	6.2	7.1	131	5.0	5.8	6.8	181	3.6	5.2	6.8
32	5.7	6.7	6.8	82	4.8	5.9	6.4	132	4.6	6.9	7.0	182	4.2	5.9	6.3
33	4.8	6.5	7.9	83	4.5	5.4	7.6	133	4.9	6.2	7.0	183	4.3	6.9	8.1
34	4.6	4.8	5.6	84	4.6	6.6	6.8	134	5.6	7.3	8.3	184	4.4	5.2	6.3
35	3.4	5.4	6.0	85	4.8	6.7	7.6	135	4.9	6.5	7.3	185	4.9	6.3	7.4
36	4.3	6.7	7.1	86	4.4	6.1	6.9	136	5.9	6.5	6.7	186	5.7	6.7	6.7
37	4.7	4.7	6.7	87	4.5	7.2	7.6	137	4.2	4.4	5.3	187	4.0	4.7	6.0
38	4.5	6.6	7.6	88	5.0	2.5	7.6	138	4.7	6.5	7.9	188	4.7	6.3	9.2
39	4.5	4.7	5.9	89	2.9	3.1	4.0	139	4.2	6.3	7.5	189	4.7	5.3	6.3
40	4.8	6.8	7.2	90	4.6	6.1	7.7	140	5.4	6.7	9.1	190	4.7	6.9	8.3
41	5.6	7.4	8.3	91	4.0	6.4	7.2	141	5.3	6.9	7.7	191	5.8	7.5	7.6
42	4.4	5.0	6.7	92	4.5	6.4	6.4	142	4.1	4.1	4.7	192	4.4	5.9	8.1
43	3.6	5.7	7.4	93	4.5	6.4	6.6	143	4.4	6.4	7.0	193	4.2	6.0	6.1
44	5.2	6.4	7.6	94	5.2	7.1	7.2	144	5.2	5.5	6.3	194	5.1	7.2	7.6
45	3.0	3.6	5.2	95	6.1	6.5	9.4	145	5.1	5.4	5.8	195	5.5	7.4	8.2
46	4.5	6.7	7.3	96	3.9	6.0	6.9	146	5.2	6.5	7.0	196	4.3	6.2	6.7
47	4.6	5.9	6.8	97	6.0	6.9	9.0	147	4.1	6.2	6.8	197	4.1	7.3	7.7
48	4.1	6.3	8.3	98	5.3	6.5	7.5	148	3.0	4.1	4.3	198	4.6	5.4	6.0
49	5.3	6.4	6.8	99	6.0	6.9	7.9	149	5.6	7.2	7.8	199	5.8	7.6	8.4
50	4.7	5.3	6.9	100	4.0	5.3	5.7	150	4.6	5.3	6.1	200	5.0	7.1	8.4
												合計	934.6	1226.0	1397.2
												平均	4.7	6.1	7.0

② 評価平均



(註) (1) 37.38.39年度も、40年度と同じような結果となったので40年度のみで、あとは省いた。

〔表 1〕



度々あり、その都度県下の高校生の洋服、和裁、手芸の作品展示会が行われた。その展示会に於て、下関地区※2に比らべて、技術的な面では劣りはせずむしろ秀れている位であったのに、どうしても色の関係、デザインの関係から展示効果がなく見劣りがしていた。

しかし、先生方のいろいろな指導と助言、訓練を行った結果、教材のスーツの布地を選ぶにあたって、自分の願、スタイルを考慮し、材質、デザイン、色を上手に取り入れて購入することができるようになって来た。展示会においても、垢ぬけて、すっきりしたものが出品できるようになって来た。卒業後の衣生活、住生活においても役立っていることを、卒業生から、しばしば聞くことができる。

人間の才能には、先天的な要素の影響が大きい。Designの感覚訓練においては、素質の全々ない人は、いくら訓練しても大したな効果はないが、全々訓練しないよりは、した方がいくらか良い。また逆に素質のある人は訓練の効果が大きく現われる。その実例として素質はあっても、その素質を伸ばすことのできなかつた生徒が訓練がきっかけとなり、興味を持ち始め、自分から進んで訓練を行い、卒業後デパートの宣伝課に勤めて活躍している。

もう一つこの訓練で得られる利点は、訓練に忍耐と努力と時間とそれに丁寧なきれいなということが要求されるため、落ち着が出て物事に対してすべてが丁寧になることである。訓練の結果を数字でもって明確に表現できなかつたが訓練は、しないよりは、した方が良いということがわかった。

未熟な者で、不十分な点ばかりですが、お読みいただきまして御指導御意見を受け出来ますれば大変幸わせたと存じます。

文 献

宮下孝雄著 色彩・意匠ガイド

※1 香川高通校所在地

山口県宇部市

工業と緑の都市と云われているセメントを中心とした工業都市

※2 山口県下関市

港があり九州との交流都市